

2022年6月8日

株式会社ディーエイチシー

～日本初[※]！2つの機能性関与成分が、空腹時&食後血糖値にはたらく～

2022年6月8日（水）

DHCから機能性表示食品「血糖値ダブル対策」新発売のお知らせ

株式会社ディーエイチシー（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：吉田 嘉明、以下：DHC）は、2022年6月8日（水）より、日本で初めて[※]桑の葉由来イミノシュガーとバナバ葉由来コロソリン酸の2つを機能性関与成分として配合した機能性表示食品「血糖値ダブル対策」を発売いたします。

※桑の葉由来イミノシュガー、バナバ葉由来コロソリン酸を機能性関与成分として配合した機能性表示食品として（2022年5月 機能性表示食品の届出情報検索を用いたDHC調べ）

日本初[※]

空腹時 × 食後

Wのダブルの血糖値対策

※桑の葉由来イミノシュガー、バナバ葉由来コロソリン酸を機能性関与成分として配合した機能性表示食品として（2022年5月 機能性表示食品の届出情報検索を用いたDHC調べ）

2つの機能性関与成分でダブルの機能

DHC NEW 機能性表示食品
血糖値が高めの方に
血糖値ダブル対策

高めの空腹時血糖値を下げる
食後血糖値の上昇を抑える

DHC 30日分
DHCの健康食品
30日分
タブレット3粒
一日摂取目安量

[商品詳細]

商品名 / 販売価格	血糖値ダブル対策 30日分【機能性表示食品】/1,480円(税込)
摂取目安量 剤形/入り数	1日3粒目安 タブレット / 90粒入
機能性関与成分	桑の葉由来イミノシュガー … 3.15mg バナバ葉由来コロソリン酸 … 1mg
届出表示 (届出番号：G740)	本品には、桑の葉由来イミノシュガー、バナバ葉由来コロソリン酸が含まれます。桑の葉由来イミノシュガーは、糖の吸収を抑え、食後血糖値の上昇を抑える機能があることが報告されています。バナバ葉由来コロソリン酸は、健康な方の高めの空腹時血糖値を低下させる機能があることが報告されています。本品は、血糖値が高めの方に適した食品です
販路	通販、DHC直営店
URL	https://www.dhc.co.jp/goods/goodsdetail.jsp?gCode=70040

■ 本件に関するお問い合わせ ■

株式会社ディーエイチシー 〒106-8571 東京都港区南麻布 2-7-1
TEL: 0120-333-906 9:00～20:00 年中無休（年末年始をのぞく）

◆空腹時血糖値&食後血糖値とは？

健康診断では、食後 10 時間以上絶食して測定する「空腹時血糖値」を確認します。しかし、健診項目ではない食後血糖値が高くなっていることも…。どちらの血糖値も高いままにしておくと、血糖値を正常に保つ作用への悪影響や血管へのダメージ等、様々なリスクに繋がることが考えられます。

血糖値とは…

血糖値とは、血液中のブドウ糖の濃度のことです。砂糖がたくさん含まれる甘い食べ物や、ごはんやパンなどの炭水化物などを食べることで、消化吸収されブドウ糖となり血液に入ります。このため血糖値は健康な人でも食前と食後で変化します。

※食事の糖質量（単糖量）は DHC 健康食品相談室監修。

角砂糖 1 個(3g)の単糖量を 3.15g として換算。端数は四捨五入。

【食事の糖質量（単糖量）】



◆DHCの「血糖値ダブル対策」は、 2つの関与成分のはたらきで空腹時&食後血糖値をダブルで対策！

「血糖値ダブル対策」は、健康な方の高めの空腹時血糖値を低下させる機能が報告されている“バナバ葉由来コロソリン酸”と、糖の吸収を抑え、食後血糖値の上昇を抑える機能が報告されている“桑の葉由来イミノシュガー”のはたらきにより、空腹時だけではなく、食後血糖値も対策できます。

健診では空腹時に測定

バナバ葉由来コロソリン酸の働きにより
健康な方の高めの空腹時血糖値を低下させる

血糖値を一定に保つホルモン「インスリン」の働きを助けることで、血液中にある糖を細胞に取り込みやすくし、エネルギー源として利用しやすくすることで、空腹時血糖値を低下させます。

一緒に頑張ろう！
うまく働けなくて血糖値が…
血管
糖
エネルギー

バナバ葉由来コロソリン酸
インスリン

空腹時血糖値の変化率

グループ	変化率 (%)
プラセボ群 (n=15)	100
バナバ葉由来コロソリン酸群 (n=15)	約90

有意差あり
*p<0.05 (vs. プラセボ群)

空腹時血糖値が100~125mg/dLの20歳~70歳の健康な成人が、バナバ葉由来コロソリン酸0.9mg/日またはプラセボを12週間摂取した。Choi MS et al. Food Funct. 2014;5(7):1621-30.より改変

研究レビュー採用論文のうち、代表的な臨床試験の結果を事例として提示しており、本製品を用いた臨床試験ではありません。

桑の葉由来イミノシュガーの働きにより
糖の吸収を抑え、食後血糖値の上昇を抑える

食事を通して取り込まれた糖質はそのままでは吸収されず、小さな糖に分解されて血液中に入り、全身へ運ばれます。桑の葉由来イミノシュガーは、糖質の分解を阻害する働きを持つため、血液中に糖が吸収されにくくなり、血糖値の上昇が緩やかになります。

分解するぞ！
糖糖 → 糖糖
糖質分解酵素 (α-グルコシダーゼ)
排出
糖糖
糖糖
血管
糖
糖
そうはさせない！

桑の葉由来イミノシュガー

食後血糖値の経時変化

時間 (分)	プラセボ群 (n=22) (mg/dL)	桑の葉由来イミノシュガー群 (n=22) (mg/dL)
0	80	80
30	120	110
60	110	105
90	105	100
120	100	95

有意差あり
*p<0.05 (vs. プラセボ群)
**p<0.01 (vs. プラセボ群)

薬粉末を食事(白飯)とともに摂取しました！

空腹時血糖値が126mg/dL未満の20歳~64歳の健康な成人が、絶食状態で薬粉末1g(桑の葉由来イミノシュガー2.42mg含有)またはプラセボを服用した後、白飯200gを摂取し、血糖値の経時変化を測定。出典:中野 隆之, 他. 薬理と治療 2020;48(5):859-65.より一部改変

研究レビュー採用論文のうち、代表的な臨床試験の結果を事例として提示しており、本製品を用いた臨床試験ではありません。

■ 本件に関するお問い合わせ ■

株式会社ディーエイチシー 〒106-8571 東京都港区南麻布 2-7-1
TEL: 0120-333-906 9:00~20:00 年中無休 (年末年始をのぞく)